

3点目を決め喜びを爆発させる堀。得点は「ムラさん(村山)にボールが入った時点で狙っていました」と語った



「あっちのシュートの下手さに助けられた」と試合後に監督は語ったが、それでも守備陣は粘り強く、集中を切らさず戦った



この試合で退場してしまった河端(左)。残念ながら決勝の舞台には立つことは出来なかった



8月28日 19:00 テグ市民運動場  
**日本3 (1-2-0) 0モロッコ**

得点者(アシスト)  
【日】5分:山崎雅人(前田雅文)  
【日】88分:山崎雅人(田代有三)  
【日】89分:堀健人(村山祐介)

JAPAN	MOROCCO
GK①塩田仁史(4)	GK⑩モウタサディク
DF②村山祐介(4)	DF②ティル・ジャラル
DF③江添健太郎(3)	DF④アラオウィ・マダギリ
DF⑤岩政大樹(4)	DF⑤ネジミ・マメド
DF④戸川健太(4)	DF⑥アラ・ハッサン
MF⑦中後雅喜(3)	MF⑦ベントフリット
MF⑥坂坂一成(3)	MF⑧ケラジ
MF⑩堀 健人(3)	MF⑩ラオウニ・バルダ
MF⑩前田雅文(3)	FW⑩エリレッツ
(74分)⑨原一樹(11)	FW⑩ムラベス
FW⑩山崎雅人(4)	(79分)⑥チュッポ・ハメド
(88分)⑩兵働昭弘(3)	FW⑭モウグリ
FW⑨田代有三(4)	(66分)⑩エルムトウニ
MANAGER 西田裕之	

警告(C)/退場(S)  
【日】22分:河端和哉(C)、39分:村山祐介(C)、52分:前田雅文(C)、90分:河端和哉(C)  
【モ】28分:エリレッツ(C)

[シュート]9:20[枠内シュート]4:5[決定機]5:4  
[CK]3:2[PK]0:0 [OS]5:1[ファール]23:10  
[主審]エスファハニアン(イラン)[観衆]約1500人

※上記データは全て左側の数字が日本。枠内シュート、決定機は本誌記者による記録です。

前田の突破は日本の大きな武器となっていた。アシストも見事だった

◆試合後選手コメント◆

西田裕之監督

本当に成長しながらよくここまでできたという感じがします。ホッとしたというのが本音ですかね。でも、せっかくここまでできたのだから輝きのいいメダルを獲って帰りたいと思います。チームはまだまだ成長段階。まだまだ良くなると思いますよ。ただ決勝もいい試合をしてくれると思います。今日は危ないシーンもありましたけどあっちのシュートの下手さに助けられました(笑)。それにセンターバックとキーパーできちっと最後まで守った。攻撃に関しては苦しい時間帯に落ち着いて決めてくれました。そのへんが選手達のすごいところでしょう。選手達も決勝はイタリアということで思い切ってやってくれるでしょう。決勝はユニバ最後の試合を楽しみたいと思います。

岩政大樹主将(東京学芸大学)

ついにここまでできたというかんじですかね。苦しい試合をものにしたので充実感もありますし。モロッコは思った以上に技術があって戸惑ったんですけど、過去にもこんな戦いをしてたんで辛抱強く守ろうと思ったらその経験が活きたのかしっかり守れましたね。今のところ筋書き通りにきていて、なにより今大会には自分で自身もチームも楽しんで出来てるので最後まで楽しみたいと思います。(対戦相手はイタリアですが?)僕は昔からイタリアのサッカーが好きなので対戦相手としてはベストだと思いますよ。決勝はチームで今までやったことをすべて出して個人としてもいろんなことにチャレンジしてみなくて最高の喜びを味わいたいと思います。

西田監督は「実感が湧かない。成長しながらようやくここまで来たという感じ」と語った。決勝に向け岩政は「チームで今までやったことをすべてでして最高の喜びを味わいたい」と語った。決定力、タレント不足など連覇を疑問視されてきたイレブンが最高の喜びを味わうまで残り一試合

いよいよここまで来た。決勝はチームで今までやったことをすべてでして最高の喜びを味わいたいと思います。試合は開始早々に動いた。開始5分、前田が快速を飛ばし右サイドを突破。なかで待っていた山崎にビタリとあわせ先制。今大会で何度か見られた前田&山崎コンビで幸先良く先制。しかし、「予想以上にモロッコは技術があつて戸惑った」と試合後選手たちが語ったように中盤でなかなかボールを支配することが出来ず苦しむ。そのなかでも「決定力不足とか騒がれてたんで有りと二人で絶対に点を取ってやるよと言っていた」(山崎)と言うように田代&山崎が奮起。モロッコゴールに迫る。

3

いよいよここまで来た。決勝はチームで今までやったことをすべてでして最高の喜びを味わいたいと思います。